

牛久：学校周辺に見る自然

第2号 向台小学校

2017年4月25日発行

＜ 春の校庭で生きもの観察 ～②その他の植物＞

向台小3年生との春の生きもの観察、今回は、前号で紹介できなかった木や草の花です。



葉が出る前に花が咲くソメイヨシノ(上2枚)。
花びらがたくさん(八重咲き)のサトザクラ(左下)。
まずは木の花から、桜。まんまる池のソメイヨシノは、葉が出る前に花が咲くのが特ちょうの一つです。日本各地で花見の主役になっていますが、1本または少数の木からさし木などで増やされて広がったクローンと考えられているようです。ソメイヨシノが終わると、八重咲きのサトザクラが咲きはじめました。こちらも、きれいですね。



フェンス沿いでは、シナレンギョウが黄色の花をまぶしいくらいに咲かせていました。
まんまる池の百葉箱近くでは、八重咲きのツバキがきれいです。ハエやハナアブの仲間が、花粉をなめに来ていました。雄しべのつけ根から、たくさんみつを出しています。なぜ、たくさんか？ そのわけは、またの機会にお話しましょう。

フェンス沿いのシナレンギョウ(左)と、まんまる池のツバキ(右)



ヤマモモのめすの木(左上)と、め花の集まり(右上)。おすの木(左下)とお花の集まり(右下)。

向台小には、他の学校ではあまり植えられてない木がいくつかあります。このヤマモモもその一つ。おすの木とめすの木があって、近くに両方がないと実はできません。生で食べても甘ずっぱくておいしく、ジャムや果実酒にすることもあります。果物屋さんにはないのは、実が長持ちしないからのようです。



校舎うら、フェンス沿いのアケビ(上2枚)と、ミツバアケビ(左下)。



校舎うら、駐車場のフェンス沿いには、あけびの花が2種類咲いていました。一つは小さな5～7枚が集まって葉をつくるアケビ、もう一つは小さな3枚が集まって葉をつくるミツバアケビ。どちらも秋に実が熟してさけますが、鳥などに先に食べられてしまうことも多いです。最近では、スーパーなどで見かけることもあります。



↑ ドウダンツツジ

5月を前に咲き出したのが、ドウダンツツジ。
 白いつりがねのような花。やがて甘いにおいが漂い、ミツバチやマルハナバチなどがやってきます。

最後に草の花、その他、名前だけ。アブラナの仲間^{なかま}でミチタネツケバナ。ハコベの仲間^{なかま}オランダミミナグサ。マメの仲間^{なかま}カラスノエンドウとコメツブツメクサ。その他、ハルジオン、ヘビイチゴ、スズメノテッポウ、つくし、きのこでサルノコシカケの仲間^{なかま}。

【理科支援員：宮内】



ミチタネツケバナ(上左), オランダミミナグサ(上中), カラスノエンドウ(上右), ハルジオン(中左), サルノコシカケの仲間(中中), コメツブツメクサ(中右上), ヘビイチゴ(中右下), つくし(下左), スズメノテッポウ(下右)。

